

2010年5月12日

## 「日本の ODA を変える会」

### 第 4 回会合プログラム

- 18:30～18:40 第 3 回会合の総括 小嶋雅彦、大野泉
- 18:40～19:20 「市民の参加と理解：開かれた国際協力をめざして」  
【キックオフご発言】
- ・ 犬塚直史氏 民主党参議院議員  
——国際協力のキャリアパス、地方の視点
  - ・ 中村絵乃氏 (特活)開発教育協会/DEAR 事務局長  
——開発教育と国際理解の推進
  - ・ 伊佐治健氏 日本テレビ報道局ニュース編集部  
(NEWS ZERO チーフプロデューサー)  
——報道からみた国際協力
- 19:20～20:20 意見交換
- 20:20～20:30 まとめ

#### 本会合のねらい

・マルチステークホルダー(政、産、官、学、NGO、マスコミ等)の有志により、国際協力の「現場の視点」や「国民の視点」から、新しい時代の日本の ODA のあり方を見直し発信する場をつくる。

・何のための ODA か、国民の理解と支持を得るには何が必要か、真に途上国に貢献するための方策は何か、国際社会をリードするために今何をすべきか、等の観点から、各界から話題提供していただき、具体的な議論を行う。とりあげるテーマは次のとおり。

- ① 新しい時代の ODA を考える視点
- ② 「民」主導の国際協力、多様な関係者との連携
- ③ 国際協力政策の形成にむけて、政治の役割
- ④ 市民の参加と理解、開かれた国際協力
- ⑤ アジアとの協力戦略、新興国との連携(予定)

・民主党政権のもと、「300日プラン」の中で外務省が取組んでいる ODA の見直し作業にインプットすべく、2月～6月に会合を5回開催予定。可能であれば、「提言」を取りまとめる。

・「ODA マニフェスト」(2007年10月策定)後に達成できたこと、残る課題についても留意しつつ議論する。

本会合のウェブサイト：<http://www.grips.ac.jp/forum/2010/ODAMT10/oda2.htm>

事務局：GRIPS 開発フォーラム